

トマトの価格動向について

トマトの価格動向について

トマトは7月から価格が高い状態が続いている。

これは、

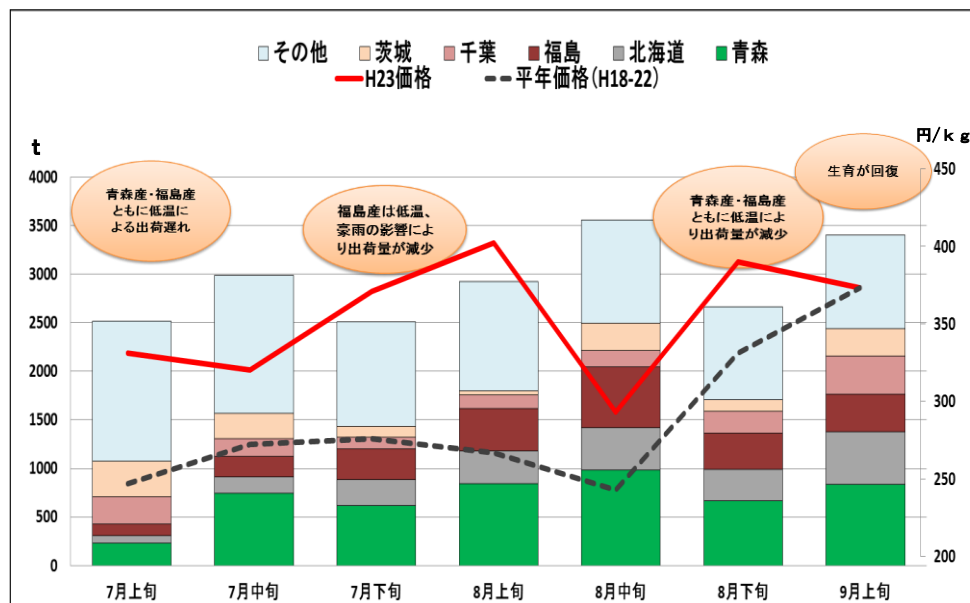
① 7月上旬は主産地の青森産、福島産ともに春先の低温等の影響、下旬は福島産は豪雨の影響を受けたことにより少なめの出荷量となった

② 8月中旬には気温が上昇し出荷量が増加したが、下旬には成り疲れと気温の低下により出荷量が減少したことによる。

9月に入り天候の回復とともに、今後は出荷量が徐々に回復すると見込まれ、価格は平年よりやや高めながらも落ち着いてくるものと思われる。

トマトの産地別入荷量と価格の推移（7月上旬～9月上旬）

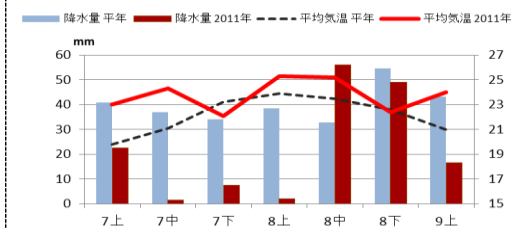
東京都中央卸売市場



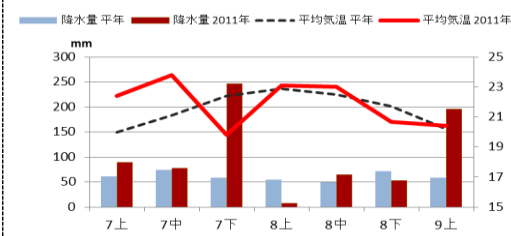
資料：青果物情報センター

産地の気象状況

青森県 五所川原



福島県 田島



資料：ベジ探（原資料）気象庁「統計データ」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジヤス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html